

平成31年度第3回松戸東警察署協議会

1 開催日

令和元年12月19日（木曜日）

2 開催場所

松戸東警察署

3 主席者

・協議会委員9人　・警察署14人

4 議題

(1) 第18回警察署協議会代表者会議出席結果報告

(2) 刑事課長

犯罪情勢(令和元年11月末現在)について

(3) 生活安全課長

・電話de詐欺の発生状況（令和元年11月末現在）について

・電話de詐欺の抑止対策の推進状況について

(4) 交通課長

・交通事故発生状況（令和元年11月末現在）について

・交通事故防止対策の推進状況について

5 委員からの要望・意見

【要望】 市内のショッピングモール近くにある駐車場のないケーキ店に来るお客さんが路地に違法駐車しているので困っている。

警察の方が取締りをしているのを見たことはあるが、もっと取り締まることはできないか。

【回答】 現在も交通課員や交通監視員に重点的に取り締まるように指示していますが、今後も徹底した取締りを実施します。

【質問】 高齢者のアクセルの踏み間違いによる事故は発生しているか。

高齢者の運転免許証の自主返納は進んでいるか。

【回答】 実際に当署管内でも発生しています。

運転免許証の自主返納は、県内で約700件で、前年比+約200件となっています。

【要望】 自主返納者のメリットはあるのか。

松戸市に聞いたところ、今後公共交通機関の割引などを検討する等、市全体で対応するらしいが、積極的にやるように警察から市に働きかけることはできないか。

【回答】 働きかけます。現在でも、各バス会社は割引をしていますし、流山電鉄は5割引で、ある飲食店はドリンク1杯無料のサービスなどをしており、詳しくは千葉県ホームページに掲載されていますが、なかなか見る機会がないと思いますので、「広報松戸」などに掲載してもらえるか検討します。

6 諮問事項

(1) 高齢者総合対策の推進状況について

【諮問】松戸東警察署における高齢者対策の推進状況についてお話しします。

高齢化社会における諸問題は、次の3点が挙げられますので項目ごとに説明します。

ア 認知症等による行方不明・保護

○行方不明の発生状況

当署における行方不明の発生状況は、令和元年11月末現在で242件ありましたが、その中で認知症によるものは141件で、全体の約60パーセントとなっています。

○行方不明事案発生時の対応

警察による行方不明事案発生時の対応としては、

- ・防災無線、安全安心メール
- ・警察犬による検索
- ・駅等の防犯カメラの検索
- ・発生場所付近の集中検索

等を行っていますが、課題として、

- ・不明者が他市、他県まで行ってしまい、長時間発見されないケース
- ・届出までに時間経過があり手がかりが少ないケース
- ・早朝、夜間に発生し、関係機関の協力が得られないケース

があります。

○保護取扱い状況

当署における保護取扱い状況は、令和元年11月末現在で573件あり、その中で認知症によるものは268件で、全体の約45パーセントとなっています。

○保護事案取扱い時の対応

警察による保護事案取扱い時の対応としては、

- ・負傷等の確認（必要により119番引継ぎ）
- ・親族、看護者への引き渡し
- ・独居老人を自宅に搬送した場合は、翌朝の在宅確認
- ・行政への情報提供

等を行っていますが、課題として、

- ・家族の看護能力が低く、徘徊を繰り返すケース
- ・重度の認知症であるが、独居のため看護者がいないケース
- ・氏名、自宅すら分からないため引継ぎ先がないケース

があります。

○まとめ

行方不明・保護事案は、警察が「搜索」や「看護者への引き渡し」等の初動対応を行うことが多いのですが、

- ・防災無線、安全安心メールの実施
- ・徘徊高齢者の継続的支援

等で、市役所高齢者支援課との連携が不可欠であり、今後も同課や地域包括支援センターとの連携を密にして、高齢者の行方不明・保護事案の適切な対策を行っ

ていくことが重要となります。

イ 高齢者による危険運転対策

○高齢者による死亡事故の発生

当署管内において、運転者75歳男性、歩行者81歳女性の死亡事故が発生しました。

発生場所は、見通しは良いが日没後で薄暗くなっている道路上で、時速約30キロメートルで走行中、運転者は歩行者の存在に気付いていたようですが、詳細は捜査中となります。

○当署の取組

高齢者交通安全教育として、

- ・ 5月、高齢者ドライビングコンテスト
- ・ 9月、サポートカー体験
- ・ 10月、サポートカー体験
- ・ 12月、シルバーリーダー会議

を行っており、高齢者の運転能力の低下や自動ブレーキの有効性を体感してもらいましたが、ドライビングコンテストでは、参加者22人中20名が検定中止となっています。

○運転免許証の自主返納

高齢者の免許証の自主返納については、去年の自主返納者は488件でしたが、本年は738件で大幅に増加しています。

これは、当署の取組と社会的機運があいまって、高齢者の運転免許証の自主返納が大幅に増加していますので、今後も死亡事故の根絶を目指し、高齢者の交通安全教育を繰り返し行い安全運転を呼びかけるとともに、運転に不安を感じる高齢者に対しては、運転免許証の自主返納を促していきます。

ウ 独居・孤独死

○検視事案の統計

令和元年11月末現在の当署における検視事案は、全体数255件、うち高齢者189件で、その中でも独居の高齢者は74件となっています。

○独居高齢者の検視事案における課題

検視事案の課題としては、

- ・ 長期未発見により、死因の特定が困難になる。
- ・ 親族が生前の状況を把握していないため、病歴や通院歴等の環境捜査が進まない。
- ・ ご遺体を引き取ってくれる遺族が見つからない。

などが挙げられますが、重要なのは「行政との情報共有」となります。

○警察の取組

警察のこれまでの取組は、

- ・ 高齢者支援課、医師会との情報共有のための枠組みを構築中
- ・ 松戸市地域ケア会議への参加
- ・ 包括支援センターへの独居高齢者情報の提供

などがありますが、今後は「先進技術による孤独死防止」として、
人感センサーや火災、ガス漏れセンサーのほかに音感知センサー（倒れた音等を感じ）の開発を富士通株式会社に提案
など、高齢者支援課、警備会社（通報先）との調整を経てサービスの提供を働きかけていく方針です。

【質問】交通死亡事故について、見通しの良い道路なのになぜ事故を起こしてしまったのか。

【回答】捜査中のため詳細は話せませんが、バッグを触っていたようです。

【質問】時速30キロだったの止まれなかったのか。

【回答】ブレーキが効くまでの空走距離もあります。

事故当時の歩行者の服装が茶色だったのですが、反射材等を身に付けていれば死亡事故にはならなかった可能性もあります。

【要望】私も犬の散歩をしているが、犬の毛は黒いし自分も黒い服を着ていることもあるので、危険性をもっとドライバーに理解させてほしい。

【回答】ドライバーだけではなく、歩行者にも危険性を認識していただきたいので、引き続き歩行者や自転車への反射材の普及等に努めます。

(2) 駐車監視員活動ガイドラインについて

【諮問】駐車監視員活動ガイドラインについて説明します。

ア 駐車違反取締り状況

当署の駐車監視員による駐車取締り状況は、

- ・平成30年1月から10月末累計～1,433件
- ・平成31年1月から令和元年10月末推計～1,550件

で、昨年と比べると117件増加しています。

これは、平成27年4月から駐車監視員が車両2台監視員4名の2ユニットとなり、取締り件数は増加しましたが、現在の駐車ガイドライン内の違法駐車は増加傾向にあります。

イ 駐車監視員活動ガイドライン

当署管内の駐車監視員活動ガイドラインについては、昨年

- ・重点地域～新京成電鉄沿線（常盤平4丁目の一部）
- ・重点路線～松戸市小金原7丁目5番地交差点付近から金ヶ作202番地付近交差点までの間（市道あめりかふう通り）

を新規改訂しています。

また、本年は管内において大型商業施設の

- ・9月、オウル五香がプラッツ五香にリニューアルオープン
- ・10月、テラスモール松戸がグランドオープン

しましたが、同所は既にガイドラインの重点路線となっています。

来年度の展望については、新規店舗がオープンすることではなく、現状では松戸市常盤平4丁目の常盤平団地内を来年夏以降に指定駐車禁止場所に指定するために現在当署交通課規制係が松戸市役所と協議中となります。

【意見】なし

